



# 進取の気概

(校長室だより)

有田市立箕島中学校

自主 友愛 剛健

R5-10-6

No.24

## 読書のすすめ



「食欲の秋」「スポーツの秋」「読書の秋」「芸術の秋」など、よく「〇〇の秋」という言葉が使われます。秋は気候や気温がちょうどよく、運動や読書などをするのに大変適した季節だからです。ところで、下のグラフは、今年の5月に実施した生活アンケートの結果です。学年によって違いますが、全体で約7割のみなさんが「読書が好き」、「どちらかといえば好き」と答えています。調べてみると、全国的にも同じような傾向にあるようです。

本を読むとそこには新しい世界との出会いがあったり自分の視野が広がったりというように本は自分の知らないさまざまなことを教えてくれます。また、自分自身を見つめ直したり、深い感動を覚えたりもできます。それから、こんな経験はないでしょうか。自分が読んだことのある小説が映画やドラマになったりして実際にそれをみると、どうも自

分の思っていたのと違うと感じたり、その逆に自分の思っていたとおりだったと感じたりしたという経験です。本の魅力はそこにもあるんじゃないかと思います。どうということかという、本(物語)を読んでいくと文字で書かれている話が自分の想像力によって絵や写真、動画となって頭の中に描かれていきます。登場人物を自分に置き換えたり、文字で書かれた風景や音や匂いなども実際にそこにあるかのように感じ取れます。つまり、文字という情報から想像力をはたらかせて「自分だけの世界」が作り出されていきます。自分が読んだことのある本の映画化されたりドラマ化されたりしたものをみて、自分の思っていたものと違うとか同じであると感じるのは、本を読むことで作りだした自分の世界と比較しているからです。

私たちの身の回りには動画などがあふれています。そこには多くの情報が含まれているので、あえて想像力をはたらかせる必要はありません。しかし、本は文字のみ(たまに挿絵があるかも知れませんが・・・)ですので、頭の中に入ってくる情報は限られています。だから、私たちは想像力をはたらかせ「自分の世界」を作り始めます。これは素晴らしい本の魅力であると思います。「読書の秋」ぜひとも、みなさんにはそういう素晴らしい本の魅力にたくさん触れてほしいと思います。休み時間には図書室を利用し、想像力と感性を磨きましょう。



読書は好きですか。

